

認知症ケアに活用しているマフ(筒状のニット製品)の愛称を、市広報等で募集したところ、たくさんのご応募の中から、榎引老人福祉センターの皆様が考えてくださった「つるマフ」が選ばれました！

笑顔と会話が
増えました。
ケアする側も
お互いに癒さ
れています。



認知症マフの愛称が決定！

「つるマフ」

マフの中の毛糸のボールを握りながら、穏やかな表情に♡



鶴岡市民ボランティアと病院や救急隊、介護施設などがつながり、認知症ケアにマフを活用するという、鶴岡市ならではの「認知症に優しいまちづくり」となっていることから、つるおかの「つる」とマフを合わせた「つるマフ」という愛称に決定しました。また、折り鶴の「つる」にもかけ、安心・やすらぎの祈りを込めて「つるマフ」が認知症ケアの推進につながることを願うものです。

令和5年10月 長寿介護課



たくさんのご応募ありがとうございました。
つるマフの作成について、ボランティア希望の方がいらっしゃいましたら、下記にご連絡ください。



問い合わせ先

長寿介護課高齢者支援担当 ☎0235-29-4180へ